

本特集では、2019年4月に日本高血圧学会から公表された「高血圧治療ガイドライン2019」や、それ以降に蓄積された注目すべき知見を各著者にまとめていただいた。いうまでもなく、高血圧は脳心血管疾患の発症・死亡の最大のリスク因子であるが、これらの半数以上はⅠ度高血圧以下の比較的軽度な範囲で認められる。さらに、わが国における日本動脈硬化縦断研究の結果から、降圧薬非服用者においては120～129/80 mmHg未満の正常高値血圧でも、120 mmHg未満かつ80 mmHg未満の正常血圧者と比べて1.7倍の発症リスクがあることや、正常血圧者でも降圧薬服用者では非服用者の2.0倍の発症リスクがあると報告されている。そのため、高血圧の予防と管理には、高血圧者のみを対象とするハイリスク戦略だけでなく、国民全体の血圧分布を低い方向へ移行させるポピュレーション戦略が重要であり、これに関しても本特集でわかりやすく概説していただいた。さらに、これらのハイリスクおよびポピュレーション戦略を実現させるためのツールとして、スマートウォッチを用いたウェアラブルデバイス（Apple Watch, Fitbit, Galaxy Watchなど）が開発され、Cure App HT 高血圧治療補助アプリが2022年9月に保険適用となり、販売が開始された。これらのデジタル技術により、医療従事者は患者の日常生活にも目を向けることができ、行動の変容と降圧効果の過程を観察できるようになるため、患者個別の治療戦略を立案することが可能となり、高血圧診療の質の向上につながる可能性が指摘されている。本特集で上げられた新たな高血圧の管理・治療戦略が、高血圧患者の日常診療の向上につながれば幸いである。

川村哲也

本誌広告取扱い

文栄社 〒113-0033 東京都文京区本郷3-26-1
本郷宮田ビル5階 ☎03-3814-8541
メディカ 〒105-0013 東京都港区浜松町1-12-9
アド 第1長谷川ビル2階 ☎03-5776-1853 (代)

・本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)東京医学社が保有します。

・**JCOPY** <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、一般社団法人出版者著作権管理機構(電話03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

特集: CKD-MBDの新しい潮流【増大号】

総論

CKD-MBDとは(2012年CKD-MBDガイドラインからの変更点を踏まえて)……………深川雅史

CKD-MBDの病態

無機リン酸の恒常性維持……………瀬川博子, 他

骨量減少のメカニズム……………木村聡一郎, 他

CKDによる骨微細構造の劣化……………尾崎 誠, 他

CKD-MBD関連因子がもたらす臓器障害

尿細管障害とcalcium phosphate microcrystals……………黒尾 誠

心筋線維化とFGF23, ビタミンD代謝……………齋藤友広, 他

CKD患者の血管石灰化病変の特徴

冠動脈病変……………中野敏昭

心臓弁石灰化……………森本耕吉

脳血管病変……………鶴屋和彦

下肢末梢動脈病変……………守矢英和, 他

CKD-MBD管理の課題

現行ガイドラインの課題……………横山啓太郎

CKD患者における血中カルシウム値の異常と予後……………荒瀬北斗, 他

ターゲットリン値とCACS……………猪阪善隆

骨評価 骨代謝マーカーと骨密度測定との限界……………山本 卓

CKD患者における骨質……………斎藤 充

CKD-MBD治療

現行治療の死亡・骨折予防効果と課題

保存期……………藤井直彦

透析期……………谷口正智

腎移植後……………木村貴明, 他

骨粗鬆症治療

骨粗鬆症治療におけるビタミンDとCa受容体作動薬の意義……………稲葉雅章

骨吸収抑制薬(デノスマブ)……………乳原善文, 他

骨形成促進薬(テリパラチド)……………乳原善文, 他

二相性作動薬(抗スクレロチン製剤)……………佐藤宗彦

血管石灰化病変治療

冠動脈病変のインターベンション効果と課題……………石井秀樹

脳血管障害治療……………赤岩靖久

末梢血管病の血行再建……………宮下裕介

CKD患者に特徴的なLEAD病変に対する治療

(再生医療含めて)……………大竹剛晴, 他

CKD-MBD管理の新たな知見

予後から見た副甲状腺機能摘出術とカルシウム受容体

作動薬……………副田圭祐, 他

リン低下薬と予後……………緒方浩顕, 他

カルシウム受容体作動薬と血清石灰化傾向……………庄司哲雄

新規CKD-MBD治療薬

新規リン低下薬: Tenapanor……………河野圭志, 他

新規リン低下薬: DS-2330b (NaPi-IIb阻害剤)とEOS789

(NaPi-IIb, PiT-1, PiT-2阻害剤)……………濱野高行

アパタイト形成阻害薬……………坂口悠介

名誉主幹/酒井 紀 秋澤忠男 飯野靖彦

編集顧問/五十嵐隆 遠藤 仁 小椋陽介 木村健二郎

小磯謙吉 小山哲夫 酒井聡一 坂井建雄

佐中 孜 猿田享男 塩之入洋 高市憲明

堀江重郎 細谷龍男 矢崎恒忠 山口 裕

山田 明

編集主幹/有村義宏 小林修三 新田孝作

編集委員/青柳一正 安藤亮一 伊藤秀一 河原克雅

川村哲也 清水 章 高橋公太 高橋 悟

長田道夫 服部元史 平和伸仁 星野純一

本田浩一 横尾 隆 竜崎崇和

第95巻第2号

©2023年8月25日発行

定価 3,190円

(本体2,900円+税10%)

編集 腎と透析編集委員会

発行所 株式会社 東京医学社

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-40-5

URL <https://www.tokyo-igakusha.co.jp>

編集部 03-3237-9113 FAX 03-3237-9115

Eメール: jin@tokyo-igakusha.co.jp

販売部 03-3265-3551 FAX 03-3265-2750

Eメール: hanbai@tokyo-igakusha.co.jp

2023年前金予約購読料1カ年50,600円(増刊号含む, 税込)